お客様各位

2010 年 1 月吉日
富士通エフ・アイ・ピー株式会社

基礎設計計算システム『BASEPLAN ver.12.3A』修正レポート

拝啓
時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
貴社におかれましては、日頃より基礎設計計算システム『BASEPLAN』を御利用いただき厚く御礼申し上げます。
さて、この度『BASEPLAN ver.12.3A』におきまして、不具合が判明し、システムの修正が必要となりました。
御手数ではございますが、建設ポータルサイトより”version12.3C”のシステムをダウンロードしいただき再インストールしていただくようお願い致します。
障害発生をお詫び致しますとともに、今後とも御愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 障害内容
1）杭基礎計算時に適用基準「鉄道構造物等標準・同解説　基礎構造物・抗土圧構造物」を選択し低減係数 DE を設定した場合、「許容押し込み支持力（地震時）」「許容引き抜き力（地震時）」に低減係数 DE が考慮されていない不具合を修正しました。
2）入力単位系の変換が機能しない不具合を修正しました。
3）PowerUsers 権限で本システムの実行ができない不具合を修正しました。

2. アップデート方法

建設ポータルサイト（http://www.fcena.jp/fcena/portal/fcenaPortal_main.html）より BASEPLAN ver.12.3 C をダウンロードし、お使いのパソコンに上書きインストールを行って下さい。

手順
①ユーザＩD、パスワードを入力してユーザ専用ページに入ります。
②メニューの「ダウンロード/製品情報」＞「最新バージョンへの差分ファイルのダウンロード」から 12.3C の圧縮ファイルをダウンロードしてください。
③再インストール（旧システムをアンインストールの後）して下さるようお願い致します

3. お問い合わせ先

〒105-8668　東京都港区青海 2-45（タイム 24 ビル）
富士通エフ・アイ・ピー株式会社
FCENA サポートセンター
Tel　0120-84-1118（フリーダイアル）
03-5730-2342（直通）
Fax　03-5730-0718
E-mail　fcena@fip.fujitsu.com

－ 以 上 －

基礎設計システム『BASEPLAN』の障害条件について（補足）

（1）「許容押し込み支持力（地震時）」
低減係数 DE を考慮した計算式に変更いたしました。

2．3 許容押込み支持力

（常　時）Ra＝ 0.30・qd・Ap＋ 0.30・UΣ（Li・fi）＝　　(kN)

（地震時）Ra＝ 0.50・qd・Ap＋ 0.50・UΣ（Li・fi）＝　　(kN)

ここに、
Ra：許容押込み支持力

変更後

2．3 許容押込み支持力

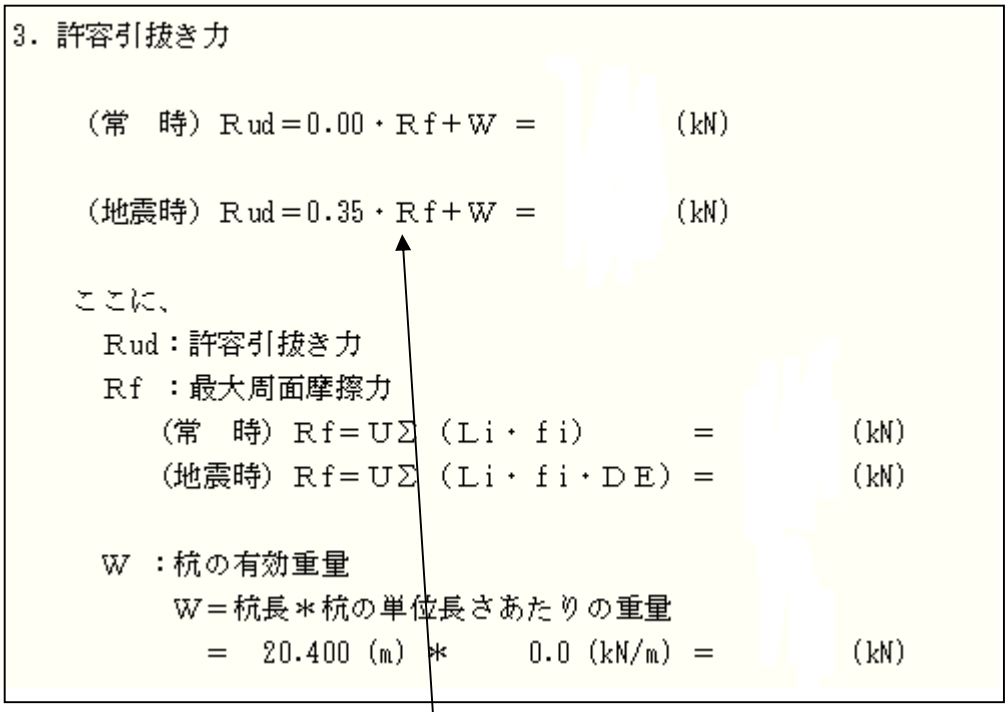
（常　時）Ra＝ 0.30・qd・Ap＋ 0.30・Rf ＝　　(kN)

（地震時）Ra＝ 0.60・qd・Ap＋ 0.60・Rf ＝　　(kN)

ここに、
Ra：許容押込み支持力
Rf：最大周面摩擦力
（常　時）Rf＝UΣ（Li・fi）　　＝　　(kN)
（地震時）Rf＝UΣ（Li・fi・DE）＝　　(kN)

⑵「許容引き抜き力（地震時）」

許容引き抜き力（Rud）の算定に低減係数 DE が考慮されていませんでした。
変更後は、（地震時）の Rf より算定し、低減係数 DE を考慮することとしました。出力形式フォーマットに変更はありません。



地震時の Rf＝UΣ（Li＊fi＊DE）を使用しないで、Rf＝UΣ（Li＊fi）の値を使用していました。地震時の Rf＝UΣ（Li＊fi＊DE）を使うように変更いたしました。